

授 業 科 目 名	物理療法学実習	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	平塚 将嗣、落合 慶之、水谷 貴佐	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>前期で学習した理論をもとに、実際に各種の物理療法治療を体験し、物理療法についての理解を深めること。臨床（実習を含む）で実際に治療が行える、効果や注意を説明できるまでのレベルを目標にして行きます。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>疾患、機器に応じたオリエンテーションができる。 安全に配慮した機器の操作ができる。 治療効果の判定ができる。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	水治療法実習 I		〔水谷〕
第 2 回	水治療法実習 II		〔水谷〕
第 3 回	水治療法実習 III		〔水谷〕
第 4 回	水治療法実習 IV		〔水谷〕
第 5 回	電気刺激療法実習 I		〔落合〕
第 6 回	電気刺激療法実習 II		〔落合〕
第 7 回	電気刺激療法実習 III		〔落合〕
第 8 回	電気刺激療法実習 IV		〔落合〕
第 9 回	光線療法		〔落合〕
第 10 回	温熱療法実習 I		〔平塚〕
第 11 回	温熱療法実習 II		〔平塚〕
第 12 回	温熱療法実習 III		〔平塚〕
第 13 回	温熱療法実習 IV		〔平塚〕
第 14 回	温熱療法実習 V		〔平塚〕
第 15 回	牽引療法実習		〔平塚〕
評価方法	レポート（65%）、実技試験（35%）で総合的に判定する		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 エビデンスから身につける物理療法（羊土社）</p> <p>〔参考図書〕 物理療法学（医学書院）</p>		
履修上の 留意点	前期に行った物理療法学、生理学、解剖学、物理学の知識を復習しておくこと		
メッセージ	特になし		